



ほっと アングル

自分たちでついたモチは最高

加茂野児童館で「児童館もちつき体験」が開催され、園児、小学生とその親ら約150人が参加して貴重な体験をしました。

健寿会、民生児童委員、主任児童委員、保護者会など、多くの地域の人たちの協力を得て、家庭ではなかなか体験できない昔ながらのもちつきをしました。

12月2日(土)：加茂野児童館



美濃加茂に根付いた文化

「第10回朗読フェスティバル」が、みのかも文化の森で開催されました。みのかも「声のドラマ」の会が運営する朗読講座で学ぶ6つのグループが、臨場感あふれる朗読を披露し、訪れた市民らを魅了しました。観客席では感極まって涙を流す人も。語り手と聴き手が一体となり独特の空間をつくり出していました。

12月3日(日)：みのかも文化の森

拍手、拍手、素晴らしい音楽会

「小学校音楽会」が「みんなで感動をつくりあげよう～耳を澄まして聴こう・心をこめて表現しよう～」をスローガンに文化会館で開催され、市内小学校9校の代表児童が参加し、合唱や合奏、オペレッタなどを披露しました。

素晴らしい合唱や合奏に、訪れた保護者らから大きな拍手が送られていました。

11月22日(水)：文化会館



第42回加茂駅伝大会

12月3日(日)：八百津町～美濃加茂市



1本のタスキに思いを込めて

八百津町から美濃加茂市までの初冬の加茂路を舞台に、過去最多の89チームが、1本のタスキに思いを込めて熱いレースを繰り広げました。

受け継がれる伝統

蜂屋小学校の2年生60人と6年生47人が、千年の歴史を誇る地域の特産品「堂上蜂屋柿」づくりに挑戦しました。

蜂屋柿振興会の会員5人を講師に招き、皮むきのこつなどを聞きながら、専用の皮むき道具で皮をむき、殺菌と色付けのため、硫黄で薫蒸し、天日干しをしました。

11月15日(水)：蜂屋小学校



子豚はかわいかったよ

養豚農家の石原義信さん(蜂屋町)が、園児の動物愛護心をはぐくみ、感受性の豊かな子になるようにと、「子豚のふれあい広場」を市内の10保育園で開催しました。

最初は、おっかなびっくりで逃げ回っていた園児たちですが、次第に慣れてくると、子豚に触れたり抱っこしたりできるようになりました。

11月16日(木)：市内の10保育園

